日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	プロダクトデザイン実習5	
科目基礎情報					
開設学科	プロダクトデザイン科	コース名		開設期	前期
対象年次	3年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2単位	授業形態	実習		
教科書/教材	レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	大山敏弘、荻田冬馬	実務経験の有無・職種	有・カーデザイナー、グラフィックデザイナー		
学習目的					
プロダクトの総合的な知識・技術をもとに、課題を通じて自身のプロジェクトをマネジメントできるようになることが目的。					
到達目標					
スケジュールや予算を管理し、デザイナーとしてクライアントとコミュニケーションを取りプロジェクトを遂行できるようになる。					
教育方法等					
授業概要	課題を通じてクライアントを理解し、業界の動向を踏まえた内容でプロダクトを表現することができるようになることを目指す。合わせて相手に伝わりやすい内容、プレゼンテーションの研究をし表現することを目指す。				
注意点	学生同士、教員と学生のコミュニケーションを重視する。授業中は積極的に取り組み、分からないことをそのままにせず解決する。自分だけで取り組まず、アイデアを人に伝え合うことができるようにする。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーション実施ならびに評価を受けることができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	課題技術	40%	課題の表現技術を総合的に評価する		
	課題内容	40%	課題のコンセプト・アイデア・デザインを総合的に評価する		
	プレゼンテーション	10%	課題の発表技術、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	ガイダンス、課題説明	課題について理解する、スケジュールを立てることができる。			
2回	リサーチ1	リサーチ能力が向上し、より良いアイデアが創出できるようになる。			
3回	リサーチ2	リサーチ能力が向上し、より良いアイデアが創出できるようになる。			
4回	コンセプトメイキング	コンセプトを明快に立てることができる。			
5回	デザイン1	リサーチをもとにラフデザインを描くことができる。			
6回	デザイン2	ラフデザインを図面に落とし込むことできる。			
7回	デザイン3	ラフデザインを図面に落とし込むことできる。			
8回	中間プレゼンテーション	進捗を発表し、今後の方向性を決めていくことができる			
9回	表現1	リブランニングし、最終プレゼンに向けて作図やボードの制作作業をすることができる			
10回	表現2	リブランニングし、最終プレゼンに向けて作図やボードの制作作業をすることができる			
11回	表現3	リブランニングし、最終プレゼンに向けて作図やボードの制作作業をすることができる			
12回	表現4	リブランニングし、最終プレゼンに向けて作図やボードの制作作業をすることができる			
13回	表現5	リブランニングし、最終プレゼンに向けて作図やボードの制作作業をすることができる			
14回	最終プレゼンテーション	完済した作品を堂々と人に伝え、感動させることができる			
15回	まとめ	作品をまとめることができる			